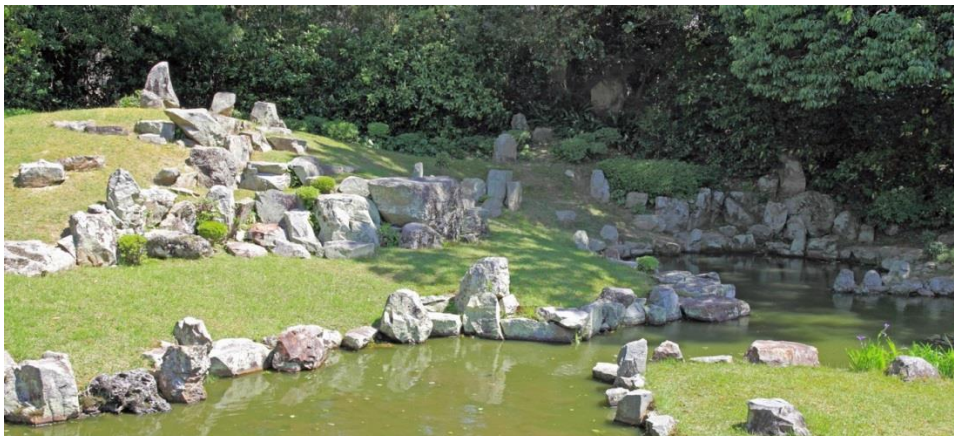


Manpuku-ji Temple Muromachi Period Shimane Pref. Masuda City Higasimachi Tel:0856-22-0302

沿革：1374 年、岩見の領主益田兼見は、中須にあった時宗の安福寺を現在地に写し、浄光院万福寺と改称し、益田氏の菩提寺とした。1479 年雪舟は益田貞兼に招かれて、父兼堯の肖像画を描くことを依頼された（現在の重文で残っている）。この時に寺院荘厳として庭園を作ったとされている。

庭園：稜角の鋭い石で組まれた石組みは、仏教哲学の「九山八海」を象徴している。層を成した水平の石組みは「九山」を表し、池泉は「八海」を象徴している。池泉・石組み・柴山のみで、植栽は背景の修景木のみである。現代彫刻のような鋭い稜線からなる造形は近代的とも云える鮮やかな庭。雪舟伝承の庭は多いが常栄寺に次いで信憑性が高い。



手入れの行き届いた柴山上にスッキリとした白亜の造形が浮き上がる。護岸石組みはメリハリがあり変化に富んでいる。



書院手前の礼拝石



池泉部の右護岸石組みは龍門瀑、出島は荒磯の景